

日本語能力考试备战系列

N3 文字词汇习题集

[日] 桑山哲郎 编著

 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS
www.sflep.com

资源(100) 资源(100) 资源(100)

1.100 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100)

1.100 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100)

1.100 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100) 资源(100)

日本語能力考试备战系列

N3 文字词汇习题集

[日] 桑山哲郎 编著

 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

图书在版编目(CIP)数据

N3 文字词汇习题集/(日)桑山哲郎著 —上海:上海外语教育出版社,2011

(日本语能力考试备战系列)

ISBN 978-7-5446-2250-9

I. ①N… II. ①桑… III. ①日语-词汇-水平考试-习题集 IV. ①H363-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2011) 第 036676 号

出版发行: 上海外语教育出版社

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@slep.com.cn

网 址: <http://www.slep.com.cn> <http://www.slep.com>

责任编辑: 王 俊



印 刷: 昆山市亨林彩印厂
开 本: 787×1092 1/16 印张 10 字数 228千字
版 次: 2011 年 7 月第 1 版 2011 年 7 月第 1 次印刷
印 数: 3 100 册

书 号: ISBN 978-7-5446-2250-9 / H · 1032

定 价: 18.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

前言

2010年7月起,新的日语能力考试开始实施,本书就是根据新N3级的文字词汇出题标准而编写的习题集,笔者希望广大的学习者通过使用本书,能够更加系统合理地掌握N3文字词汇知识。

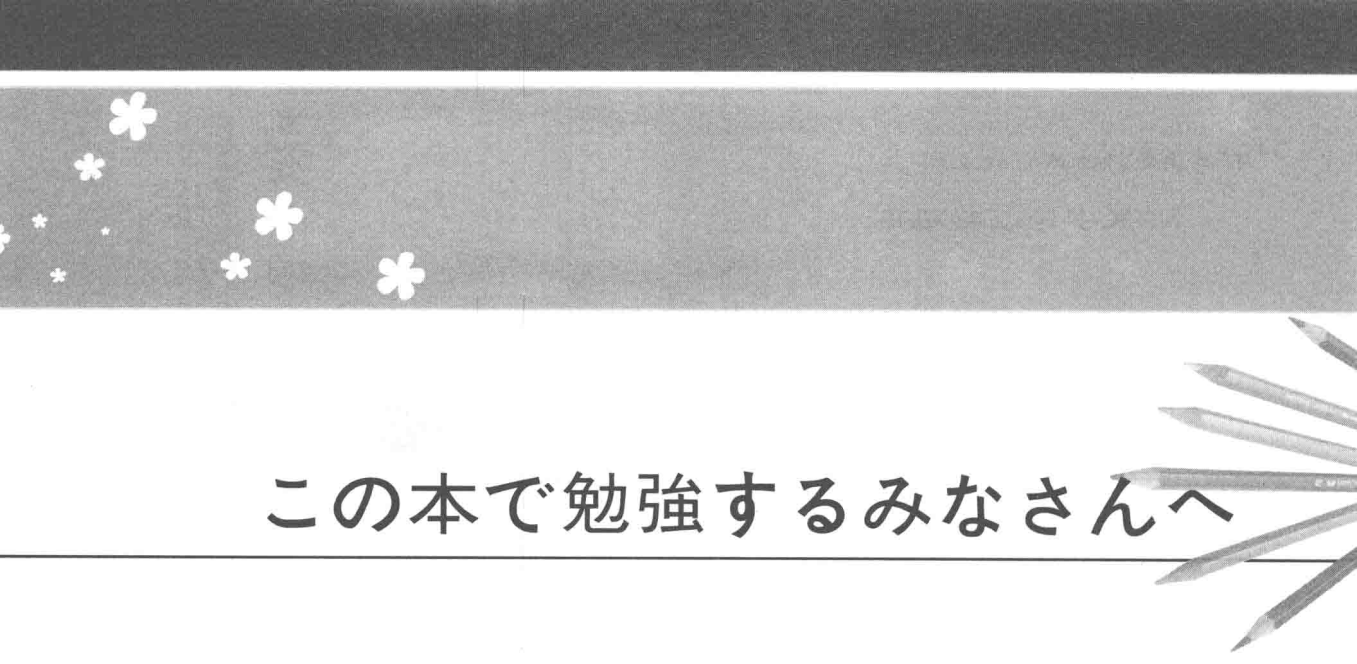
根据新出题标准,N3级考察的文字词汇内容包括汉字读法、汉字写法、上下文理解、同义词替换和词汇用法等,本书在开篇就对以上这些相关的知识进行了统括性的说明。

正文部分由七个单元组成,每单元主要针对不同的词性范畴对相关的知识进行概括和复习,也有介绍敬语知识以及惯用语、格言和谚语知识的内容。每单元分两部分,第一部分首先按照细致的分类,以填空题的形式对考点知识进行梳理,考生如果能够跟着本书的步骤将这些填空题做上一遍,就能对N3文字词汇部分的全部知识点进行一次整理和复习,从而起到温故知新、查漏补缺的作用。本部分以知识的整理为主,因此在做题的过程中可以查词典、找资料、看答案,也可以在课堂上老师的指导之下进行;第二部分则是按照能力考试N3文字词汇真题题型设计的大量练习,可供使用者了解和适应考试的题型,检验自己复习的效果,为参加考试做好准备工作。这部分练习最好独立完成,以检验和找出自己的薄弱环节,从而更好地进行有针对性的复习。两部分习题都附有答案。

笔者一直在中国从事日语教育工作,在多年和中国的日语学习者打交道的过程中,积累了一些中国人学习日语和参加日语能力考试的知识,希望能在新的能力考试实施之际,将这些知识分享给中国更广大范围内的日语学习者。由于笔者水平有限,谬误在所难免,敬请读者批评指正。

2011年春

桑山哲郎



この本で勉強するみなさんへ

この本は、2010年7月から実施された新しい日本語能力試験 N3をめざす人が日本語の文字・語彙をより体系的にそしてより合理的に学習できるように編集しました。

1. 新しいN3の文字・語彙出題基準(漢字読み、漢字の書き方、文脈規定、言い換え類義、用法)に基づいて練習問題をつくってあります。
2. 日本語の総語彙の中で字音語(漢語と和製漢語)がほぼ半分近くを占めます。本書では、中国漢字と日本漢字との発音の関係、漢語の類語の使い分け等について、より詳しくわかりやすく学習できるように問題をつくってあります。
3. 語彙の中で動詞・名詞・形容詞は、文をつくるうえでの基本的な成分であり、また、副詞も重要なはたらきをしています。品詞別にそれぞれの語彙の類語を意味分類し、典型的な用例をあげて、問題をつくってあります。
4. 2010年文化庁答申の『敬語の指針』に基づいて新しく敬語を分類してあります。基本的な問題をつくってあります。
5. 日本語にはオノマトペ(擬態語・擬声語)が豊富で表現を豊かにしています。日常生活でよく使う擬態語・擬声語の意味と用法を学んでください。
6. 身体名詞を使った慣用句やことわざなども、日本語の背景として重要です。あわせて学んでください。

2011年 春節

桑山哲郎

目次

日本語の文字・語彙について

1. 日本語の文字・語彙	1
2. 日本語の漢字音と中国語の発音	2
3. 日本語の語彙の組み立て(語形成)	3
4. 語彙の意味について	4

ユニット1 動詞・名詞・外来語

1. 字音語と拼音字母との対照	7
2. 漢字の一部分が同じ音を表わす字音語	8
3. 漢字音が2種類ある音	8
4. 同音異義語の字音語	9
5. 漢語の類語	10
6. 和語動詞の同音異義語	13
7. 意味分類による和語動詞の類語	16
A. 手・腕・指先を中心とした動作	16
B. 足・羽を中心とした動作	16
C. 口の動作	17
D. 目の動作	17
E. 耳・鼻の動作	18
F. 身体の動作	18
G. 発言・通信の動作	18

H. 思考・認識の動作	19
I. 感情・感覚の動作	20
J. 精神・好悪の動作	20
K. 移動・運動の動作	21
L. 破壊・変形の動作	24
M. 料理に関する動作	24
N. 自然に関する動作・現象	25
8. 和語名詞の同音異義語	26
9. 特別な読み方	27
練習問題	29

ユニット II い形容詞・な形容詞・連体詞

1. 形容詞の種類	67
2. 形容詞の派生語	67
3. 形容詞の意味	68
4. 連体詞の種類と用法	75
練習問題	77

ユニット III 副詞

1. 副詞の種類	89
2. 副詞の意味	90
A. 様態を表わす副詞	90
① AっBり型/AんBり型	90
② ABAB 型	91
③ AAと/に型	91
④ Aんと/Aっと型 その他	92
B. 程度・量・否定を表わす副詞	92
C. テンス・アスペクトを表わす副詞	93
D. ムードを表わす副詞	95
E. 評価を表わす副詞	96
F. 発言・限定を表わす副詞	97
練習問題	99

ユニットⅣ 接続詞

練習問題	115
------------	-----

ユニットⅤ 敬語表現

A. 尊敬語	119
B. 謙譲語Ⅰ	121
C. 謙譲語Ⅱ	122
D. 丁寧語	123
E. 美化語	123
F. 敬語をめぐる問題	123
練習問題	125

ユニットⅥ 慣用句・ことわざ

《身体名詞をつかった慣用句》	127
《ことわざ》	128
練習問題	129

ユニットⅦ 擬態語・擬声語

練習問題	137
【解答】	139

日本語の文字・語彙について

1 日本語の文字・語彙

日本語にはもともと文字がありませんでした。日本で一番古い歴史書、『古事記』(712年成立)によりますと、4世紀末ごろ、王仁という人が『論語』10巻と『千字文』1巻をもって日本にやってきて、中国の書物を教えるようになったとあります。古代の日本社会では、大和朝廷(5世紀末～6世紀初め、日本初の統一政権)と帰化人(古代、中国や朝鮮半島から日本にやってきた人々)の間で漢字が使用されました。そのうち、帰化人たちは周囲の日本人とつながりをもつようになり、日本語を学んでいきました。また、日本人の中からも漢字を勉強する人たちが増えていき、漢語(中国語)と日本語の接触が始まりました。そして、単音節で1語となる漢字に日本語をあてて読んでいきました。日本語と漢語の対応をいくつか『万葉集』(日本最古の和歌集、8世紀末成立)から紹介しましょう。

はな→花 ゆき→雪 くさ→草 あした→明日 き→木 かわ→河 やま→山

こうして、漢字によって日本語をあらわそうとする万葉仮名(漢字の形はそのままにして、意味は無視して発音だけを利用する。例えば、波夜久→はやく)が考えられ、さらに片仮名、平仮名が生み出されました。現代日本語の表記法は、漢字、片仮名、平仮名、ローマ字の4種類があり、およそ4千種類ぐらいある世界の言語の中で、文字(表記法)が一番多い言語であるといえます。

日本語の語彙は、やや複雑です。駱駝・胡麻・琵琶・煎餅などは、古い昔に中国語から外来語として入ってきました。また、漢語に「す」をつけて、死す・対面す・用意す・制すなどのようなサ変動詞にしたものが平安時代(794年～1192年、平安京、今の京都に都があった)にはもうすでに存在しました。

一方、日本人がつくった和製漢語もたくさんあります。古くは、見物・残念・年始・暑中な

どがあります。星座・熱帯・電気・血管・判断・意見・自由・住所・経済・革命・環境などの語彙は、明治時代に欧米の文化を取り入れる過程で欧米語の翻訳語として、大量の和製漢語が作られました。これらの語の中には、日本から逆に中国語に入った語もたくさんあります。

最近、カタカナ語、いわゆる外来語が科学技術、スポーツ、音楽方面など専門分野ではどんどん増えています。大まかにいいますと日本語の語彙体系は次のようになります。

- ① 和語：純粹の日本語 約40% たべる、たたく、くち、むし、つらい、やや
- ② 字音語：漢語と和製漢語 約45% 文化、政府、権利、無茶、大切、出張、自転車
- ③ 外来語：約10% マウス、パソコン、ライス、プロジェクト、スマート、アクセス
- ④ 混種語：約5% 気持、夕刊、両手、駅前旅館、郵便ポスト、パック旅行、サービス業

2 日本語の漢字音と中国語の発音

日本語(和語)はもともと開音節構造(a i u e oの母音で終わる)ですが、漢語(中国語)が入って来て、日本語の音節に変化がおきました。たとえば、[-ng]を長音、[-n]は[-ん]で終わるようにしました。また日本語にない[-p、-k、-t]などで終わる音は[-u、-i]の母音をつけて日本語の音に変えていきました。

中国から漢字が伝わってきた時代は、ほぼ次の三回です。

- ① 呉音：3世紀から6世紀ごろ(南北朝時代)に、長江下流域地方(現在の江蘇省あたり、呉^{くれ}といった)の古代呉語の系統の音が、朝鮮経由で入ってきました。仏教、医学関係の語に残っています。正直(ショウジキ、セイチョク)、明日(ミョウニチ、メイジツ)、小児科(ショウニカ、ショウジカ)、外科(ゲカ、ガイカ)など。下線部が呉音。そうでないのは漢音。

- ② 漢音：7世紀ごろ隋から唐中期にかけての時代、日本では平安時代のはじめ、中国に渡った留学僧や中国からやってきた中国人によって伝えられました。言語(ゴンゴ、ゲンゴ)、快樂(ケラク、カイラク)、命(ミョウ、メイ)、京(キョウ、ケイ)など。下線部が漢音。そうでないのは呉音。現在の日本の漢字はほとんどが漢音です。

- ③ 唐音：12世紀から15世紀ごろ南宋、元、明の時代、鎌倉室町時代に禅僧によって伝えられました。仏教関係の語に残っていますが、非常に少ない。鈴(リン)、行灯(アンドン)、椅子(イス)など。下線部が唐音。

音読みとは、古い中国の漢字音を日本語風(日本語の音韻に則して)に発音した音であり、訓読みとは、その漢字の意味、解釈を和語つまり純粋日本語であらわしたものです。漢字の音読みは、今の中国語の普通話(北京音が標準)からでも、ある程度は推測できます。おおざっぱに言って、次のようなことを知っておけば便利です。

- A 拼音文字(有気音か無気音かは問題としない)が同じであれば、同じ発音(清音か濁音かは問題としない)になる場合が多い。

東(dong→トウ) 動(dong→ドウ) 凍(tong→トウ) 同(tong→ドウ)

- B -n 音→-ンでおわる

年(nian→ネン) 番(fan→バン) 心(xin→シン) 勤(qin→キン)

- C -ng 音→-イ、または-ウでおわり長音。

令(ling→レイ) 星(xing→セイ) 長(chang→チョウ) 競(jing→キョウ)

- D j, q, x ではじまる漢字音は→g-, k-音になる場合が多い。

金(jin→kin キン) 器(qi→ki キ) 希(xi→ki キ)

- E h ではじまる漢字音→g-, k-音になる場合が多い。

海(hai→kai カイ) 害(hai→gai ガイ) 漢(han→kan カン)

3 日本語の語彙の組み立て(語形成)

日本語の語彙はその組み立て方は、次のようになります。

「あし」「ひくい」「とぶ」「しっかり」のように、語が1個できている語を[単純語(たんじゆんご)]といい、「おくりもの(おくる+もの)」「会議室(会議+室)」「とりかえる(とる+かえる)」「運転手(運転+手)」などのように1個の自立した成分と他の成分との組み合わせによって成り立った語を[合成語(ごうせいご)]といいます。[合成語]は次の3類にわけられます。

- 複合語: 複数の自立成分からなる語

金持ち(金を+持つ)引き出す(引く+出す)、案内する(案内+する)、チェックする(チェック+する)、うすぐらい(うすい+くらい)

- 畳語: 同じ語をかさねる語

人々、ときどき、にこにこ、もしもし

- 派生語: 自立した語に接辞がついたり、語形が変化したりしてできた語

お祝い(お+いわい)、お嬢さん(お+嬢+さん)、公務員(公務+員)、楽しみ(たのし+み)、こどもらしい(こども+らしい)、悲しげ(かなし+げ)

とくに複合語の構造は、文をつくる構造と同じような関係があります。どんな構造になっているか、よく考えてみてください。

日常生活でよく使う[単純語]は恐らく3千語ぐらいでしょう。基本となる[単純語]の意味と用法をしっかり勉強してください。3千語ぐらいの[単純語]が組み合わさって、1万語以上もの[合成語]が作られるわけです。そうすれば、語彙量もずっと増えることになります。

中国語と日本語は漢字を共有しているので、とくに字音語(漢語)は注意が必要です。日本人がつくった日本漢語つまり和製漢語があり、中国人が使う漢語があるからです。例えば、中国語で【大人気】といえば、「おとならしさ」という意味ですが、日本語では「大人気」は「だいにんき」と読めば、「大変評判がいい」という意味だし、「おとなげ」と読めば、中国語と同じ意味。中国語の【大家】は「皆さん」の意味、日本語の「大家」は、「おおや」と読めば、「家主、房东」だし、「たいか」と読めば、「その道で権威がある人、大師」という意味。中国語の【头】は首から上の部分で、日本語の「頭」は髪^{あたま}の毛がある部分。だから、日本語の「ちょっと頭を切ってくる」は【去剪发】。形容詞の【黄】もそうで、日本語の「黄色い」よりずっと範囲が広く、味噌^{みそ}のような茶色の色まで含みます。

また、本来の日本語(和語)では、1語として意識されるが、中国語としては、別の語として意識される語が数多くあります。例えば、和語「あがる」は、「人、ものごとが上の段階・領域へ移行する」というのが基本的意味(意義素)です。「学校へあがる」「手があがる」「腕があがる」「値段があがる」「魚のフライがあがる」「雨があがる」など。しかし、中国語ではそれぞれ別の動詞で表わし、「上学」「举手」「技术提高」「涨价」「炸鱼炸好」「雨停」となります。それを日本語で「上がる」「挙がる」「揚がる」などと漢字でどう書けばよいのか、悩むことなどありません。堂々と平仮名で書けばよろしい。日本語としては一つの意味なので、漢字を使うことによって、かえって誤解をうむことさえあります。

つぎに、言葉の意味を考える時は、次のようなことに注意してください。

1. 意志性 水が流れる→人の意志とは関係なく、自然にその動作が実現する(自動詞)
 水を流す→人の意志で、その動作を実現させる(他動詞)
 大粒の雨がたちまち降り出した。→無意志的な自然描写
 生徒の皆さん、ただちに講堂に集まってください→話し手の命令表現
2. 時間性 今から行くところだ。→その動作が発生する直前の状態
もう試験は終っている。→その動作が実現した後の結果の状態
 母は今、台所で料理をつくっている。→その動作の進行態
3. 移動性 ズボンをさげてはくとみつももない。→高いところのものを途中の低いところまで移動する
 トラックから家具をおろす。→高いところのものを基底面まで移動する
 プールで泳ぐ。→移動を意識させない
 空を飛ぶ。→移動を意識している
4. 動作性 会社で会議がある。→会議は動作名詞(動態)
 会社に医務室がある。→医務室は場所名詞(静態)

- ホテルの玄関に車がとまっている。→車は動いていない
運転手さん、ここで車をとめてください。→車は動いている
5. 主観性 若いときは勉強をするものだ。→社会通念・道徳上からの忠告
若いときは勉強をすることだ。→話し手の個人的な忠告
重いものは必ず下に落ちる。→客観的な必然性
海外での一人暮らしはさぞ寂しいことでしょう。→話し手の気持ち
6. 積極性 小学生がよくもこんな難しい問題を解いたもんだ。→プラス評価
失敗したのに、よくも平気な顔をしていられる。→マイナス評価
明日はいよいよ入学式だ。→プラス評価
長い間待っていたが、彼女はとうとう来なかった。→マイナス評価

動詞・名詞・外来語

1 字音語と拼音字母との対照

問題 次の字音語はどう読みますか。ひらがなで書きなさい。

- (1) 拼音字母の語尾が[-ng]の漢字音は、長音で語尾が[-い/ーう]になる。
- (2) 拼音字母の語尾が[-n]の漢字音は、撥音で語尾が[-ん]になる。
 1. 工場() 2. 残念() 3. 簡単() 4. 空港() 5. 命令()
 6. 原因() 7. 用心() 8. 丁寧() 9. 電灯() 10. 競争()
- (3) [学ガク][石セキ]など[-ク][-キ]の漢字が[カ行音]に続く場合や[鉄テツ][日ニチ]など[-ツ][-チ]の漢字が[カサタハ行音]に続く場合は促音化がおこる。
 1. 学校() 2. 格好() 3. 括弧() 4. 欠席() 5. 決心()
 6. 熱中() 7. 発展() 8. 徹底() 9. 一般() 10. 特急()
- (4) 拼音字母の[j-、q-、x-]の音は、[K音]または[G音]になる場合が多い。
 1. 解決() 2. 休息() 3. 結婚() 4. 機械() 5. 記録()
 6. 経済() 7. 警察() 8. 危険() 9. 期待() 10. 郊外()
- (5) 拼音字母の[h-]の音は、[カ行音]または[ガ行音]になる場合が多い。
 1. 海岸() 2. 会議() 3. 火事() 4. 画家() 5. 化学()
 6. 歓迎() 7. 活動() 8. 漢字() 9. 回数() 10. 環境()
- (6) [jing, qing][dong, tong]のように拼音字母(有気音か無気音かは不問)が同じであれば、同じ音(清音か濁音かは不問)になる場合が多い。
 1. 青年() 2. 清潔() 3. 請求() 4. 同様() 5. 銅()
 6. 封筒()

2

漢字の一部分が同じ音を表わす字音語

問題 次の字音語はどう読みますか。ひらがなで書きなさい。

(1) 工[コウ]という音

1. 工作() 2. 紅茶() 3. 成功() 4. 攻撃()

(2) 青[セイ]という音

1. 青少年() 2. 清潔() 3. 請求() 4. 精神()

(3) 古[コ]という音

1. 中古() 2. 故郷() 3. 固体() 4. 一個()

(4) 兪[ケン]という音

1. 検査() 2. 危険() 3. 経験() 4. 真剣()

(5) 反[ハン]という音

1. 反対() 2. 黒板() 3. 御飯() 4. 出版()

(6) 求[キュウ]という音

1. 要求() 2. 野球() 3. 救急車()

(7) 令[レイ]という音

1. 命令() 2. 年齢() 3. 冷房() 4. 零()

(8) 義[ギ]という音

1. 主義() 2. 礼儀() 3. 会議() 4. 犠牲()

(9) 復[フク]という音

1. 復習() 2. 往復() 3. 複雑() 4. 腹痛()

(10) 方[ホウ]という音

1. 方向() 2. 訪問() 3. 予防() 4. 放送()

3

漢字音が2種類ある音

問題 次の字音語はどう読みますか。ひらがなで書きなさい。

(1) 人[ニン・ジン]

1. 人形() 2. 何人() 3. 人口() 4. 主人()

(2) 文[モン・ブン]

1. 文字() 2. 文句() 3. 文法() 4. 文明()
- (3) 正[ショウ・セイ] 1. 正月() 2. 正面() 3. 正確() 4. 正門()
- (4) 行[ギョウ・コウ] 1. 第3行目() 2. 急行() 3. 銀行()
- (5) 便[ベン・ビン] 1. 便利() 2. 便所() 3. 郵便() 4. 船便()

4 同音異義語の字音語

問題 次の言葉はどんな漢字を書きますか。

- (1) カガク ○ H₂Oは水のカガク()記号です。
○ カガク()技術の進歩ははやい。
- (2) カジ ○ 娘はいつもカジ()の手伝いをしてくれる。
○ 地震の発生とともに、カジ()が起きるので注意が必要だ。
- (3) ガッキ ○ 日本の小中学校は一年を三ガッキ()にわけてある。
○ 子どもたちは楽しそうにガッキ()にあわせて踊っている。
- (4) カテイ ○ それが事実だとカテイ()して話をすすめた。
○ カテイ()の事情で学校をやめた。
- (5) カンシン ○ あの人の自慢げな態度にはどうもカンシン()しない。
○ 今度の選挙は世の中のカンシン()が高い。
- (6) キカイ ○ キカイ()があったら、また会おう。
○ このキカイ()で穴をほります。
- (7) キゲン ○ 図書の貸し出しキゲン()は二週間です。
○ ごキゲン()いかがですか。
- (8) キョウカイ ○ これは有名なキョウカイ()です。
○ 日本語能力試験は日本国際交流基金と日本国際教育キョウカイ()がおこなっている。
- (9) コウエン ○ 毎朝、コウエン()を散歩している。
○ 有名作家のコウエン()を聞きに行った。
- (10) コウカ ○ いくら注意してもコウカ()がない。
○ コウカ()のことを外来語でコインという。
- (11) コウガイ ○ コウガイ()問題は世界の国全体で考えなければならない。
○ 大都市のコウガイ()に住む人が増えてきた。